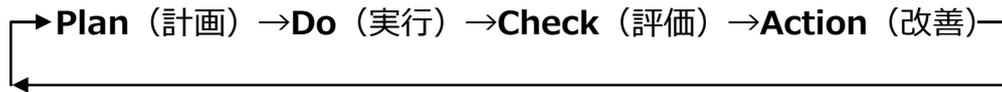


## 第3章 計画の推進に向けて

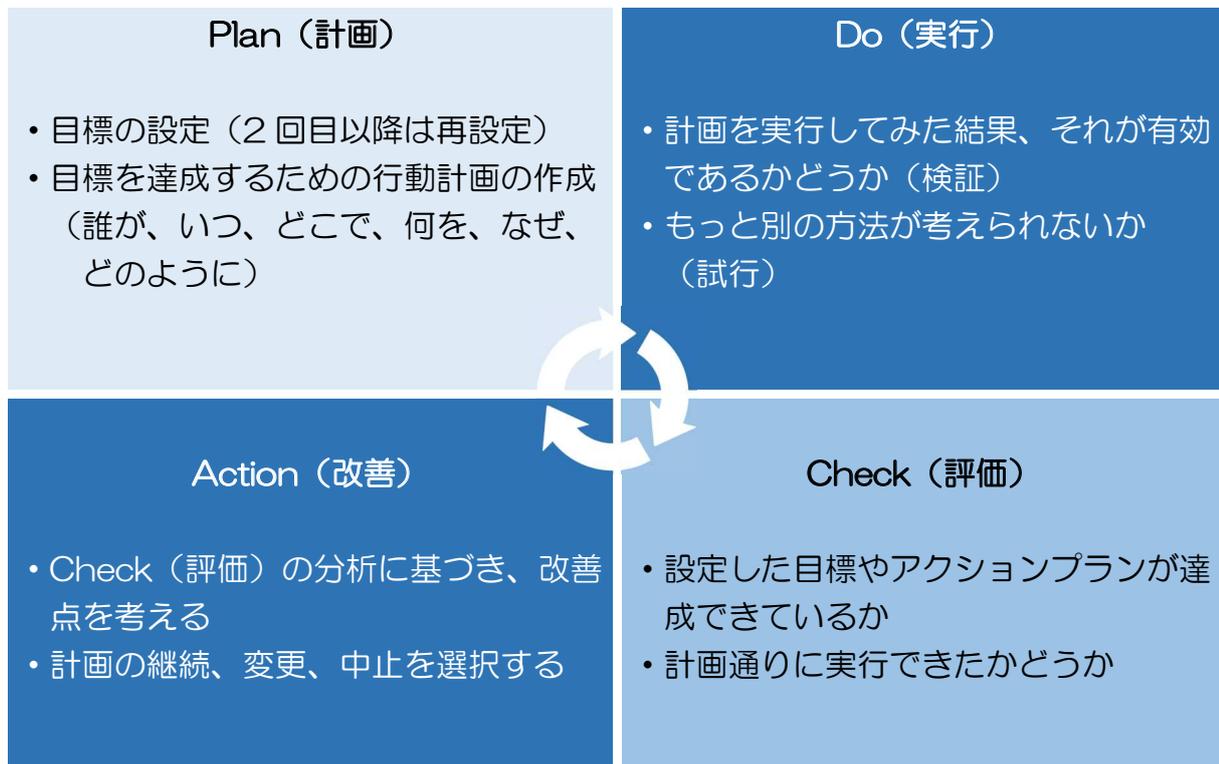
### 3-1 着実な実行のためのPDCA

計画は実行されなければ意味がありません。本計画においてもPDCAを回すことで計画の実現性を高めます。

PDCAとは、継続的な業務の改善を促す手法のことです。以下の4つの頭文字を取った名称で、4つの段階を繰り返し行うことにより改善を重ねることを「PDCAを回す」といいます。



多くの企業や自治体の計画推進のために用いられており、飯舘村第5次総合振興計画においても、(数値)目標を設定し、中間年次に村民や福島大学の学生を交え、検証を行いました。



本計画においては単年度ごとの検証による小さなPDCAと、中間年度と最終年度の見直しによる大きなPDCA、大小2つのPDCAを回すことにより、着実な実行をめざします。

### 3-2 小さなPDCA=単年度ごとの検証

重点施策として掲げた諸施策を総合的かつ効果的に実施していくため、毎年度成果検証を行い、計画の見直しや今後の予算編成等へつなげていきます。

### 3-3 大きなPDCA=計画の見直し

本村を取り巻く状況や村民の意向等に合わせ、中間年度である令和5年度に計画の見直しを行います。計画の推進状況を確認し、その成果をその後の展開に活かすため、4つの専門部会を再度開催するなど、村民参加型の見直し体制を構築します。

例) 防災分野 消防体制充実・強化推進事業

**【工程表】**

年度	全体	消防機関・企業等	村(総務課)
R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区別計画策定とあわせて見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区相互間の連携強化</li> <li>村内企業消防組織との合同訓練</li> <li>村内企業の消防隊についての説明</li> <li>消防団組織、自主防災組織の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団幹部会議の開催</li> <li>村内企業に対する説明と協力依頼</li> <li>村内滞在者の団員制度等検討</li> <li>消防資機材車両更新、村消防団本部事務所・資材倉庫整備</li> </ul>
R4		<ul style="list-style-type: none"> <li>企業消防隊の発足</li> <li>地区別計画に消防団の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業消防隊の発足</li> <li>団員募集PR活動の実施</li> <li>消防団OBなど多様な人材の活用検討</li> </ul>
R5		<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の改編</li> <li>村総合防災訓練への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防組織改編の村民説明</li> <li>教育機関等外部での広報活動実施</li> </ul>
R6	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団、自主防災組織、企業消防隊の訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記団体の協力支援</li> <li>役場消防隊の訓練実施</li> <li>役場組織内の災害図上訓練の実施</li> </ul>
R7		<ul style="list-style-type: none"> <li>消防機関の連携訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防機関の連携訓練の協力支援</li> <li>役場組織内の災害対応訓練の実施</li> </ul>

単年度ごとの検証

→

見直し体制構築  
全体の見直し

→